

主コース・副コース制の骨子（案）

学長室より提案された主コース・副コース制につきまして、工学部及び環境情報学部において検討した結果、下記の内容で実施することが両学部の教授会（工学部については代議員会）で基本的に了承されましたので、ご報告いたします。今後、平成 19 年度版学修要覧の作成に向けて、本骨子に基づいて、コース指定科目、各学部で認定し得るコースなど、詳細を決定するとともに、本年 3 月からスタートすることが想定されている対外的な広報活動において同制度を積極的にアピールすることとしております。

1 目的

- 学習教育すべき内容を重点化、明確化する。
- 学習のなるべく早い時期に、学習する分野・内容を学生が特定できるようにする。
- 必修科目である卒業研究に到る系統的学習成果を一層確かなものとする。
- 学習機会を広げ、学生の満足度を高める。
- 従来の学位認定に特徴・付加価値をつけて卒業させる。
- 学科間の壁を低くし、教育の活性化を図り、競争的に教育の質の向上をはかる。

2 骨子

以下に示すものは現時点での骨子であり、学部間で調整の上で合意に達した事項については、今後とも反映させることとする。

（1）方法

①主コースと副コースの区別

- 主コース・副コースは、卒業認定とは別のオプションとし、認定要件を満たし本人が申請した場合に、おのおの 1 コースまで学部により認定される。
- コース指定科目 14 単位と当該コースに関連する卒業研究課題を完成させた場合に主コースとして認定される。卒業研究単位数は全学部において 6 単位とする。
- コース指定科目 14 単位のみを修得した場合に副コースとして認定される。

②コース及びコース指定科目の設定

- 各学科等はコースを設定し、コース取得に必要なコース指定科目とその必選の別等を学修要覧に記載する。
- 学科等のコースと別に、学部、学群等においてもコースを設定できるものとする。
- 所属学科以外のコースを取得する場合、受け入れ側コースのアドバイザーの指導により、取得

単位・科目を追加させることがある。

③認定されるコース

- 主コースとして認定されるコースは以下の通りとする。
 - 工学部及び知識工学部の学生が主コースとして認定できるコースは、原則として、所属学科、同学群他学科あるいはリテラシー学群（自然科学系列）で設定したコースとする。
 - 環境情報学部の学生が主コースとして認定できるコースは、原則として、環境情報学部で設定したすべてのコースとする。
 - 学生の所属学科及び受け入れ学科等が認めた場合、上記以外のコースも主コースとして認定できる。
- いずれの学部、学群、学科等で設定したコースも、副コースとして認定できる。
- コース取得を目指す学生は適切な時期にコース選択を申告するものとする。申告内容は学期・学年の進行に伴って変更可能とする。特に、所属学科以外のコースを取得する場合、所属学科および受け入れ側コースのアドバイザーの指導を受けることとする。

(2) 卒業研究の配属

- 卒業研究の配属に当たっては、本人の希望に対して、指導教員が何らかの明確な基準で学生を選ぶこととする。ただし、いずれの学生も所属学科のいずれかの研究室には配属される。
- 他学部も含め他学科学生の卒業研究受け入れ人数は教員あたりあるいはコースあたりで制限する。制限方法については別に定める。

(3) 教員の兼任

- 教員は、各学科等の承認の下、原則として他学部・他学科・他コースの兼任として科目担当あるいは卒業研究指導をできるものとする。（従来型：学生の所属学科が認めれば他学科等の教員は兼任として卒業研究指導をできる。）
- 総合研究所に所属する教員は、各学部学科等の承認の下、原則的に各学科等のコースの兼任として卒業研究を指導することができるものとする。

以 上